

防災通信 No.11

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

新型コロナウイルス と 火災・救急

新型コロナウイルスの発生に伴い皆様の生活習慣にも変化が表れているのではないのでしょうか。今回は、火災との関係についてお話いたします。「令和2年上半期火災・救急概況(速報)横浜市記者発表資料 ※資料1」によりますと

① 住宅火災の件数が増加！建物火災における住宅火災の割合が過去10年で最高

火災による死者(放火自殺を除く)の全員が住宅火災によるもの

- ・火災件数は、前年よりも9件減少しましたが、住宅火災は16件増加しました。
- ・建物火災全体における住宅火災の割合は72.4%となりました。

② 近年増加傾向にあった救急出場件数、搬送人員ともに、前年と比べ減少！

全体の火災が減少しているのに住宅火災が増え、増加傾向だった救急出場件数・搬送人員の減少新型コロナウイルスにより在宅時間が増えた結果このような変化が表れているのではとのことです。

〈主な出火原因〉出火原因の上位

- 1位 「放火(疑いを含む)」26.7%
- 2位 「たばこ」11.6%
- 3位 「こんろ」11.0%
- 4位 「配線器具」5.5%
- 5位 「ストーブ」4.7%

住宅火災の出火原因

- 1位 「こんろ」21.7%
- 2位 「たばこ」14.6%
- 3位 「放火(疑いを含む)」10.8%
- 4位 「ストーブ」9.6%
- 5位 「配線器具」8.3%

住宅火災1位「こんろ」は調理器具(フライパン等)などの使用油に引火して発生することはもちろんですが、魚焼き等のグリル内全体に付着した油汚れに引火し、スイッチを切っても火が消えないので慌てて蓋を開けたところ、急激に酸素が入り燃え広がる現象があるようです。対策として清掃が大事とのことです。※横浜市消防局



〈火災による死者(放火自殺を除く)〉

住宅火災の死者のうち **(87.5%) は住宅用火災警報器が未設置の世帯で発生しました。** 設置済みでも古くなると電池切れや電子部品の寿命で火災を感知しにくくなることがあるので **10年を目安に住宅用火災警報器の交換** をお願い致しますとのことです。

※資料1

〈救急の概況〉救急出場件数及び搬送人員

令和2年上半期の救急出場件数は93,580件で、前年同期と比べて8,558件(△8.4%)減少しました。搬送人員も78,717人で前年同期と比べて9,045人(△10.3%)減少しました。全救急出場件数のうち、**急病が69.5%、一般負傷が18.1%を占めました。**

新型コロナウイルスの影響はいろいろな部分で表れているようです。年末に向けて火災予防に注意し健康にも心掛け良い年を迎えたいものですね。